



朝日を受けるブロンズ像「あけぼの橋」

津 奈 木

あけぼの橋

発行所
津 奈 木 公 民 館
津 奈 木 市 津 奈 木 町
電話 (78) 311146
印刷所 旭 印 刷
電話 (水保) 4101番



新 春 随 想

真 鯛

町長 六 車 孝 吉

も知れないと言う。委員の大半は各地区の漁協長である。その翌年牛深にある栽培漁業センターの理事会で、産卵のため外海から黒之瀬戸やその他を通って、不知火海へやってくる抱卵したマダイを一網打盡にとる漁師がいる。此を禁止出来ないかと発言した人がいた。その年は二、三の漁師が、抱卵したマダイを数千キロ獲ったと言う噂が広がって、その後暫くの間不知火海でのマダイの漁獲量

上が産卵すると思われる。勿論全国的には地域によって差がある。生簀で養成したマダイは二年魚で産卵するものがある。牛深の栽培漁業センターで人工孵化して飼育されたマダイの稚魚は、百万尾は県漁連を通じて養殖漁業者へ。約百万尾は海に放流される。故川崎一幸議長が漁協長であった頃、マダイの稚魚が津奈木では二、三百万尾獲れると言っていたので、漁協に確めてみたら、

それは十年位前の話で、数もその半分以上であったと言う。近頃は数十万尾が採捕されるそうだが、メダカ程度の稚魚が一尾七十円で売られ、僅か二週間位の短期間に、人によっては数万尾或は十数万尾以上獲る人もいられる。瀬戸内海は偽の程は分からない。瀬戸内海は昔からマダイの好漁場であり、ここで獲れたマダイは美味であると言われているが、瀬戸内海のマダイは外海で生れて瀬戸内海で育つと信じられていた。この俗説を覆して瀬戸内海のマダイは瀬戸内海で生れて育つことを立証したのが、熊本県山鹿出身の梶山英二氏である。マダイの年齢判定には鱗、耳石、脊椎骨・鰓蓋骨などが用いられるが、鱗によって判定出来ることを最初に提唱したのも梶山氏である。マダイ研究の黎明期に数々の業績を挙げ、戦前天皇に御進講申し上げたこともあり、マダイの基礎的研究における梶山氏の文献は今も尚裨益するところが大きい。マダイの人工種苗量産技術の研究が結ついたのは、一九六五年鶴川氏等がマダイ仔魚の飼育に、海水馴致されたシオミズツボムシと天然採取のプランクトンを併用投与してからであり、その歴史は僅か二十年余に過ぎない。その後新見が次々に追加されて現在に至っている。此頃養殖を取り巻く環境は誠に厳しい、経営の合理化と共に尚一層の研究が必要であり、養殖漁業者の奮起と成功を望んで止まない。

現在私達の地区で村おこし運動が実施されて居ります。県庁北普及所並に町役場の御指導で昭和六十年七月、高齢者役割向上対策事業推進協議会が、倉谷内野・上下門の3地区を対象に、三ヶ年の実施期間として行なわれて居ります。事業内容は、環境美化部・生産部・行事部・伝承部・生活史編纂部の五部会に分れて実施致して居ります。環境美化部では、地区ぐるみでの花一杯運動下水道の清掃等。生産部では蔬菜苗作りして配布。奈良漬講習等、行事部では3地区民ふれあいの場を設けて、昔から伝わって来た行事等を現在の子供達に教えると言った事。生活史編纂部では昔からの生活の中での様子を冊子として残すと言った事等。高齢者の皆さんが村おこし運動に大変頑張って居られます。現在まで行なってきた主な行事として、3地区で花苗作りして地区の皆さんに配り、至る処に年間通して花が見られる事、又3地区の幼児から老人まで一堂に集って、伝承遊びとして八月と十一月に行なった地区のあまり面識もなかった多くの方々とのふれあいが出来て、実に今一歩社会が明るく楽しくなってきた感じが致します。こういう事業を元に、出来れば町民全体が、六車町長さんの何時も申して居られます様に「明るい町」「住みたくなる町」づくりに精進すべきではないでしょうか。

一 言

それは十年位前の話で、数もその半分以上であったと言う。近頃は数十万尾が採捕されるそうだが、メダカ程度の稚魚が一尾七十円で売られ、僅か二週間位の短期間に、人によっては数万尾或は十数万尾以上獲る人もいられる。瀬戸内海は偽の程は分からない。瀬戸内海は昔からマダイの好漁場であり、ここで獲れたマダイは美味であると言われているが、瀬戸内海のマダイは外海で生れて瀬戸内海で育つと信じられていた。この俗説を覆して瀬戸内海のマダイは瀬戸内海で生れて育つことを立証したのが、熊本県山鹿出身の梶山英二氏である。マダイの年齢判定には鱗、耳石、脊椎骨・鰓蓋骨などが用いられるが、鱗によって判定出来ることを最初に提唱したのも梶山氏である。マダイ研究の黎明期に数々の業績を挙げ、戦前天皇に御進講申し上げたこともあり、マダイの基礎的研究における梶山氏の文献は今も尚裨益するところが大きい。マダイの人工種苗量産技術の研究が結ついたのは、一九六五年鶴川氏等がマダイ仔魚の飼育に、海水馴致されたシオミズツボムシと天然採取のプランクトンを併用投与してからであり、その歴史は僅か二十年余に過ぎない。その後新見が次々に追加されて現在に至っている。此頃養殖を取り巻く環境は誠に厳しい、経営の合理化と共に尚一層の研究が必要であり、養殖漁業者の奮起と成功を望んで止まない。

第37回熊日三太郎駅伝大会 大健闘 一般総合三位 中学生六位

恒例、三太郎駅伝大会が一月十一日(日)田浦町改善センター前をスタート、旧国道三号線佐敷太郎を越え、芦北から湯浦の旧国道を抜け、津奈木峠を越えて湯ノ見海岸道路から水俣市役所前ゴールで三十九キロ(一般と高校生が五区間、中学生九区間)のコースを、一般十チーム、高校生四チーム、中学生十二チーム、計二十六チームが参加して、開催された。本町選手も、大会に出場するに当り、前大会の雪辱を果たそうと、陸上部を中心に、チーム一丸となり、昨年十一月十九日から、毎夜午後六時より、雨の日も一日もかかず、練習が行われた。さて、いよいよ、大会当日、本町選手団は、風邪等で、体調を崩す選手続出、又、エースの新立芳郎選手も、右膝の故障で、出場を



1区を力走する宮嶋選手



4区(川内入口付近)を走る平野選手

母と子がスポーツを通してふれあいを深め、幸せな家庭づくりと体力づくりを図ることを目的に、「母子ビーチボールバレー大会」を開催します。各地区ごとにチームを編成し練習を開始して下さい。なお、内容は次のとおりです。主催 町教育委員会 期日 2月25・26・27日の三日間 時間 午後7時30分より

参加しませんか?母子ビーチボール大会

会場 B & G 体育館 チーム編成 町内の小学生男女の混成チームと小学生が母の親に誘われて編成されたチーム(母親のいない小学生は他の母親でもよい。但し小学生男子は二名以内とする)。競技方法 トーナメント戦 詳しくは、教育委員会へお問い合わせ下さい。



昨年の大会より



郡市対抗駅伝 お知らせ 毎年恒例の「熊日郡市対抗駅伝大会」が2月15日(日)、本渡市から熊本市までの14区間15キロで開催されます。本町からも五名の選手が出場します。出場選手は左記のとおりです。

- 【一般区間】 福田 必 (福浦) 宮嶋弘行 (日添) 藤原審二 (染竹) 新立芳郎 (大泊) 新立啓介 (桜戸) 【高校生区間】 竹本昌宏 (桜戸) 【マニジャー】 新立啓介 (桜戸)

現在の体育協会役員の任期が、六十一年度で切れるため、六十二年度は役員の改選です。このため、各地区、各種目部、協会及び各団体の代表者は、所定の「評議員選任届」を、教育委員会へ提出して下さい。尚、評議員会の開催等の準備がありますので、2月中旬に提出して下さい。

今年で3回目を迎える「芦北うたせマラソン大会」が、3月22日(日)に開催されます。参加を希望される方は、芦北町役場商工観光課へお申込み下さい。詳しくは、津奈木町教育委員会へお問い合わせ下さい。

二月になっても公民館報は正月です。お目出度うございます喜んで読んでいただける、館報作りに努力します。よろしく願いいたします。○成人者のみなさん、今年度の目標はもう立っているでしようね。立てはしたが、もう腰折れしてはいませんか。○チッソを水俣に誘致した張本人は、水俣の前田永喜さんである。その結果の善悪は別として、ご本人は水俣を救うつもりであったことは間違いない。明治四十一年に第一にできたカーバイト工場は今も残っている。○津奈木の地名研究会に御協力を。第一回の会合が二月十一日午前十時です。○夜なべ(男は縄をなったり、足ななを作ったり、女は綿から糸をつむいだり、昼の仕事の外に夜は夜業をした。)便所は外にあったから、夜業の途中便所にゆくと必ずお月さんを見て、その位置によって時刻を推測した。今川さんはそんな夜業の経験者でもある。○よくこのごろは「活性化」という。倉谷の「ひとこと」は高齢者の活性化運動の呼びかけである。「高齢者よ目を覚ませ」と○青年祭は会の模様が見えるように書いてあつて、つい引込まれた。劇は芸術の総合とかいう。歌も踊りも、仕事も、セリフその他も統合されてよかったのだろ。



愉快的フラワードンシングショー



食べることなら任せて



僕達真剣です



素晴らしい一番太鼓



御礼を言うスタッフ



カッコイイ

青年祭ご観覧 ありがとうございました

昨年の十一月三十日、改善センターにおいて第八回青年祭を開催致しました。
この青年祭は、先輩達が団員達の一致団結を願って始められたもので、今年で八回目をむかえます。又年間行事のメインにもあたり、青年団員の文化活動の強化を図る為でもあります。
そのため、私達は約二ヶ月前から計画を立て始めたものの、ちょうど青年団体内研修と重なったので、一向に準備が進まず、一ヶ月が過ぎて少しづつ軌道に乗って行き、当日一週間前になると皆時間が過ぎるのもわずかで、毎日十二時頃まで練習に励んでいました。

当日は、午後七時開演となり、FF支部の劇「花さかじいさん」では、主役のボチがお客様の目にとまり、何か動きをするたびに観客からわらいがおこりました。バックの絵もよく描けておりました。大泊支部では、踊りが主で、皆

不断見ない顔つきで真剣で、これは、町民皆さまの応援のたまもので、無事終了する事ができました。このことを深く感謝致します。又、団員一同、各自反省し、改善し、来年度も頑張りたいと思います。

実は、とても好評でした。これは、町民皆さまの応援のたまもので、無事終了する事ができました。このことを深く感謝致します。又、団員一同、各自反省し、改善し、来年度も頑張りたいと思います。

町誌とほれ話 (五)

チッソ誕生 松崎 茂生

日本窒素の創立者で企業家だった野口運とその会社について、私なりに調べ、見たり聞いたりした中で興味を持った「三」を紹介したいと思う。

一、チッソは何故水俣へ

野口運は初め、佐敷村計石をカーバイド工場用地に予定していたが、村側は労賃のあがるのを怖れて、話がまとまらなかった。

つぎに、鹿児島県米ノ津にほぼ決った。その頃前田永喜は水俣から大口や牛尾の金山へ動力用石炭を送って帰る乗合馬車の中で「野口運がカーバイド工場の建設用地を物色している」と言うホットニュースを耳にした。

「地名」の謎解きしませんか

同好の士を募ります

私たちが何気なく使っている地名には、先人たちが地形の特徴をとらえ、或いは往時の方言とか歴史的事実をもとに付けてあるようである。

その意味が忘れ去られてしまわないように、文書化し保管する義務があると思います。

申込先 教育委員会内 福岡まで
〆切 2月10日
第一回会合 2月11日(祝日)
午前10時 BG体育館会議室

送電線が米の津より八キロ遠いが、遠い八キロ分の電柱、電線を寄附する。②米ノ津以上に船着きのよい港にする。③敷地買収費が普通の売買より高くないようにする。もし高くなれば水俣村が負担する。の好条件を出した。野口の方では、米ノ津の方が距離的に八キロ近く、また築港もある処から当時一寒村であった水俣には余り興味を持っていなかった。

岡松氏に輝く「信友社賞」
岡松壮氏(八十六才)は去る六十一(十二月十九日、熊本市ホテルキャッスル11階特別室で信友社賞を受けた。



喜びの岡松氏

町内の最高齢者 今川 シゲさん96才

今川シゲさんは、楠十一郎さんの後をうけて、津奈木町の最高令者となられました。
今川さんは、明治二十三年四月十日生まれですから、いまは九十六才です。

一月二十二日、福岡公民館主事と、筆者と古中尾の今川さんのお宅を訪問しました。まだまだお元氣のはずだと思つてゆくと、はたしてお元氣でした。

「月です。十日の月の入るまで、二十日の月の出るまで、八日の月は半分」
むかしは、きまつて毎晩夜なべをしました。右は、その止め時を示したもので、十日は月の入るころやめる。(およそ午後十時ごろ)二十日の月の出るころも午後十時ごろになる。

元気に話される今川シゲさん

岡松 壮 記